

奥内陶芸美術館
(豊中市)

みゅ〜
ザ・見遊じあむ

60

住宅街の一角に、突如姿を現す美術館です



た、そうそうたる芸術家の作品(絵画、版画、陶芸品など)をはじめ、紀元前800年のベルシャ出土の土偶、イラン8世紀青銅器置物などなど古今東西の名品がずらりと並んでいきます。まちかどで思わず「お宝を発見!」したような雰囲気につつまれます。この

「お宝発見!」の
まちかどミュージアム

阪急宝塚線「岡町駅」を下りて西に5分ほど歩くと、住宅街の一角に、一風変わった美術館があります。中に入って展示品を見ればビックリ。ピカソ、シヤガール、喜多川歌麿、歌川国貞、梅原龍三郎、棟方志功、富本憲吉、河合寛次郎、北大路魯山人といつ



玄関では彫刻像が
出迎えてくれます

ミュージアムメモ

▶所在地/豊中市岡町北3-8-1 ▶交通/阪急宝塚線「岡町」駅下車西へ徒歩5分 ▶開館時間/午前9時~午後4時 ▶休館日/金曜日、12月20日~翌年1月10日 ▶入館料/大人500円、学生300円、団体300円(10人以上) ▶連絡先/06-6852-3842 冷暖房設備なし

「ベスト・キッド」



アメリカ版から
中国版へ

た。ウィル・スミスの息子も上手な子役でした。将来が楽しみです。ともあれ、この種の映画は吹き替え版で観るに限ります。

まず、ストーリーを。12歳の黒人少年のドレは、母の転勤でアメリカ・デトロイトから中国の北京へと移住することになりました。引越し早々、ドレは中国の少女・メイと友だちになりますが、地元少年たちからまれてしまいます。毎日のように少年たちのいじめは続きました。ある日、アパートの管理人のハンが現れ、ドレを助けます。ハンからカンフーの手ほどきを受けるドレは、成り行きから、武術大会に出ることになり、イジメの少年のガキ大将と対決することになります。世界中で大ヒットした1984年のアメリカ映画「ベスト・キッド」は4作まで作られました。今回のリメイクは、設定や物語の枠組みはほ

ぼそのまま、舞台を中国の北京に移しました。主人公の12歳の少年を演じるのは、「幸せのちから」で親子共演をしたウィル・スミスの息子のジェイデン・スミス。重要なカンフーの達人役を、ジャッキー・チェンが演じています。2008年の北京オリンピック以降もどんどん近代化されていく北京や市民の日常生活など、現代中国の街中のようなすや、市民の暮らしぶりも画面から伝わってきます。ジャッキーは、おなじみの陽性なキャラクターを封印し、実年齢に近い老け役に挑戦。しかも見終わってスッキリするのには、いじめっ子たちの示す最後の礼儀の良さ。武道を志す子どもたちのさわやかさが天晴れでした。ウィル・スミスの息子も上手な子役でした。将来が楽しみです。ともあれ、この種の映画は吹き替え版で観るに限ります。

このシネマ

ガレいナ

大阪の
戦跡を歩く

第59歩



生野ソカイ道路
(大阪市生野区)

太平洋戦争の末期、空襲による火災延焼を防ぐためとして、疎開道路が全国の都市に強制的に造られました。終戦の年1945年(昭和20年)の4月から5月にかけて、大阪市生野区の住民は突然、小学校(当時は国民学校)に集

められました。出席した陸軍将校が「いまこそ天皇陛下よりお預かりした土地をお返すときがきた」と立ち退きを強制したと言われています。土地の所有者には少額の移転料が区役所より支給され、わずか2ヶ月間で約120戸が立ち退かされました。こうして造られた道路は、今も「ソカイ道路」という名前が残っています。

撰津
河内
和泉
三國誌
おおさか

60
(富田林市)

石上露子と杉山邸
宿命に抗し、
平和を愛した女流歌人

明治期に活躍した女流歌人・石上露子(1882~1959)は、本名は杉山孝といい、富田林の大地主・杉山家の長女として生まれました。幼い頃より古典文学や琴などに親しみ、18歳の時に東京に滞在。そこで出会った一学生と激しく惹かれ合いましたが、お互いに旧家の家督を相続しなければならず、恋が成就することはありませんでした。露子は学生への思慕に満ちた思いを短歌にして、与謝野鉄幹が主催する「明星」に発表し、文壇で高い評価を受けました。その頃、露子は父親の決めた相手と、意に添わない結婚をしなければならませんでした。



石上露子



富田林市の寺内町に残る
杉山邸

夫からは作家活動を禁じられ、やむなく26歳にして文学界から身を引くことになりました。その後、ようやく50歳になって作歌を再開しましたが、長男と夫の死、次男の自殺など不幸が続き、1959年(昭和34年)、生家である杉山邸の奥座敷で倒れ、還らぬ人となりました。露子は、日露戦争の最中に「みいくさ」に「こよい誰か死ぬさびしきと 髪ふく風の行方見まもる」(戦死していく人たちが、その家族、国に行く末を思うと、言い切れぬ深い悲しみに襲われる)という反戦歌を残しています。平和を愛し、宿命に抗しながら、近代的な自我をつらぬこうとした露子の生き方は、今も多くの人々を魅了しています。

秋来ぬと
目にはさやかに
見えねども...

藤原 敏行

秋来ぬと 目にはさやかに見えねども 風の音にもおどろかれぬ一。平安時代に紀貫之らによって編纂された古今和歌集に納められており、藤原敏行(?~907?)が立秋の頃に詠んだ歌だそうです。暑い夏も終わり、大阪にもそろそろ本格的な秋がやってきます。

いまも心に響く
名詩・名歌・名語録

安らかに眠って下さい
過ちは
繰返しませぬから

広島市の平和公園にある「広島平和都市記念碑」に記された碑文です。1952年に広島大学教授であった雑賀忠義氏が広島市長の依頼を受けて揮毫しました。人類すべての者が核戦争を起こさないことを誓うという意味で合意が形成されています。